

## ■ 主宰共同研究・委託共同研究 実施一覧 ■

2019.3 現在

### < 第 1 回 主宰共同研究 >

#### 「ユーラシア大陸と万葉集 I」(2002.4~2004.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学教授）

成果発表：・第 1 回共同研究公開シンポジウム

「〈うた〉のはじまりを世界から考える—ユーラシア大陸と万葉集 I—」

2004年9月19日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 3 号（2005.3）掲載

### < 第 1 回 委託共同研究 >

#### 「奈良県における万葉古代学関連研究の史的研究」(2003.4~2005.3)

研究代表者：坂本信幸氏（奈良女子大学教授）

成果発表：・第 2 回共同研究公開シンポジウム「万葉の旅ここに始まる」

2005年9月19日（月・祝）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 4 号（2006.3）掲載

### < 第 2 回 委託共同研究 >

#### 「平城万葉の形成とその基盤に関する総合的研究」(2004.4~2006.3)

研究代表者：梶川信行氏（日本大学教授）

成果発表：・第 3 回共同研究公開シンポジウム

「万葉集と平城京—万葉集を成り立たせたものを探る—」

2006年10月8日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 5 号（2007.3）掲載

### < 第 2 回 主宰共同研究 >

#### 「古代儀礼と万葉集」(2005.4~2007.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学教授）

成果発表：・第 4 回共同研究公開シンポジウム

「うたといのり—万葉集と世界の文学—」

2007年10月7日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第 6 号（2008.3）掲載

<第3回委託共同研究>

「万葉集の成立基盤としてのヤマトの信仰的世界観の総合的研究—二上山周辺地域を視座として—」(2006.4~2008.3)

研究代表者：大石泰夫氏（盛岡大学教授）

成果発表：・第5回共同研究公開シンポジウム「人はなぜ二上山にのぼるのか」  
2008年9月28日（日）実施  
・『万葉古代学研究所年報』第7号（2009.3）掲載

<第4回委託共同研究>

「万葉歌と声の歌との比較研究」(2007.4~2009.3)

研究代表者：真下厚氏（立命館大学教授）

成果発表：・第6回共同研究公開シンポジウム「アジアの歌と万葉集」  
2009年9月27日（日）実施  
・『万葉古代学研究所年報』第8号（2010.3）掲載

<第3回主宰共同研究>

「旅と万葉集」(2008.4~2010.3)

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学特任教授）

成果発表：・第7回共同研究公開シンポジウム  
「人はなぜ旅をするのか—万葉集と世界の〈旅〉—」  
2010年10月11日（月・祝）実施  
・『万葉古代学研究所年報』第9号（2011.3）掲載

<第5回委託共同研究>

「万葉の深層を探るエスノアルケオロジー的研究—とくに海洋伝承を中心に—」(2009.4~2011.3)

研究代表者：後藤明氏（南山大学教授）

成果発表：・第8回共同研究公開シンポジウム「万葉集と民族学」  
2011年9月25日（日）実施  
・『万葉古代学研究所年報』第10号（2012.3）掲載

<第6回委託共同研究>

「『万葉集』と歌木簡—東アジアにおける詩歌の場と記録メディアの展開—」(2010.4~2012.3)

研究代表者：多田伊織氏（国際日本文化研究センター客員准教授）

成果発表 : ・第9回共同研究公開シンポジウム  
「声から文字へ—木簡に記された詩歌と古代東アジアの詩歌の場—」  
2012年9月29日(土)実施  
・『万葉古代学研究年報』第11号(2013.3)掲載

<第4回主宰共同研究>

「飛鳥からの発信—万葉古代学の地平—」(2011.4~2013.3)  
研究代表者:寺川眞知夫氏(同志社女子大学特任教授)  
成果発表 : ・第10回共同研究公開シンポジウム「万葉古代学の飛鳥」  
2013年10月6日(日)実施  
・『万葉古代学研究年報』第12号(2014.3)掲載

<第7回委託共同研究>

「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」(2012.11~2014.3)  
研究代表者:見市泰男氏(能面打師・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師)  
成果発表 : ・第11回共同研究公開シンポジウム「仮面が語る芸能の世界」  
2014年9月20日(日)実施  
・特別講演会 2014年11月1日(土)実施  
・特別展示「仮面が語る芸能の世界」  
2014年11月1日(土)~24日(月・祝)実施  
・『万葉古代学研究年報』第13号(2015.3)掲載

<第8回委託共同研究>

「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」(2013.8~2015.3)  
研究代表者:福岡ユタカ氏(作・編曲家)  
成果発表 : ・第12回共同研究公開シンポジウム  
「音と映像で体感する超越性の古層」  
2015年9月27日(日)実施  
・『万葉古代学研究年報』第14号(2016.3)掲載

<第5回主宰共同研究>

「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」(2014.4~2016.3)  
研究代表者:井上さやか(万葉文化館主任研究員)

成果発表 : ・第13回共同研究公開シンポジウム「万葉集翻訳の夜明け」  
2016年10月2日(日)実施  
・『万葉古代学研究年報』第15号(2017.3)掲載

<第9回委託共同研究>

「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(2015.7~2017.3)

研究代表者: 辰巳正明氏(國學院大學名誉教授・中国南開大学客員教授)

成果発表 : ・第14回共同研究公開シンポジウム  
「万葉集の中の漢籍・仏典を考える—新しい万葉集の世界を拓く—」  
2017年9月16日(土)実施  
・『万葉古代学研究年報』第16号(2018.3)掲載

<第10回委託共同研究>

「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」(2016.4~2018.3)

研究代表者: 乾善彦氏(関西大学教授)

成果発表 : ・第15回共同研究公開シンポジウム  
「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」  
2018年9月22日(土)実施  
・『万葉古代学研究年報』第17号(2019.3)掲載

<第6回主宰共同研究>

「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」(2017.4~2019.3)

研究代表者: 井上さやか(万葉文化館指導研究員)

成果発表 : ・第16回共同研究公開シンポジウム  
2019年11月2日(土)実施予定  
・『万葉古代学研究年報』第18号(2020.3)掲載予定

<第11回委託共同研究>

「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」  
(2018.6~)

研究代表者: 橋本裕之氏(大阪市立大学特別研究員)

成果発表 : ・第17回共同研究公開シンポジウム  
2020年 秋 実施予定  
・『万葉古代学研究年報』第19号(2021.3)掲載予定